

厚別区って？ どんなところ？

歴史

厚別地区は農業・酪農地帯として栄えてきましたが、昭和30年代の大規模な団地開発、1973(昭和48)年の新札幌駅の開業を境に街並みが大きく変貌。1982(昭和57)年には地下鉄東西線が新さっぽろ駅まで延伸され、札幌の副都心としての役割を果たすようになりました。そして1989(平成元年)年11月6日、白石区から分区。新たに「厚別区」が誕生しました。

江別市

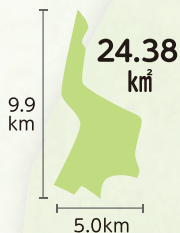
地理

厚別区は札幌市の東部に位置し、おおむねJR函館本線を境に、標高7メートルほどの平野部と、標高40メートル前後の丘陵部に分かれています。野津幌川を境に北側の丘陵部は「野幌丘陵」、南側は「厚別台地」と呼ばれており、地質学的に大きな違いがあります。また、白石区との境界を流れる厚別川をはじめ、三里川、野津幌川、小野津幌川などの川が流れ、丘陵部分に緩やかな起伏を描いています。

地名の由来

「厚別」の語源はアイヌ語の「ハシ・ペツ(低木の中を流れる川)」とも「アツ・ペツ(オヒョウダモのある川、または魚の捕れる豊かな川)」ともいわれています。「厚別」という字が正式に使われたのは、1894(明治27)年に開設された現在のJR厚別駅の駅名でした。

厚別区の
大きさは？
札幌市10区中
最小



厚別区

1989(平成元年)年

厚別区の
誕生日

11月6日

人口・
世帯数

122,481人
(内訳) 男性55,368人
女性67,113人

58,394世帯

※人口・世帯数は2024年1月1日現在。
国勢調査ベース

シンボルマーク

全体は厚別区の頭文字A(a)、左側は区域を意味し、2本の線は川、右側は鳥をイメージし飛躍を表しています。



(1990(平成2)年2月制定)

黄色は明るい街、
緑色は豊かな自然、
青色は澄んだ空を
表しているよ！



厚別区のキャラクター ピカットくん

「自然の中で子どもたちと一緒に遊ぶ森の妖精」をイメージしたキャラクター。頭の葉っぱがチャームポイント。

厚別区のキャッチフレーズ

「あついで！あつべつ!!」



活気があって、みんなが勉強や仕事に元気に取り組める「あつべつ」にしたいという思いが込められています。

まちづくり

あつべつ区民協議会

地域や企業、学校などさまざまな団体・個人が参加。厚別区をより良いまちにするため、メンバーが意見を持ち寄って話し合い、「あつべつ食の文化祭」や「厚別歴史写真パネル展」の開催などに取り組んでいます。



あつべつ食の文化祭

【お問い合わせ】厚別区市民部地域振興課まちづくり調整担当 ☎ 895-2442

白石区

清田区

北広島市